

さっぽろ 円山動物園 だより

2016
Vol.151
秋号



『飼育員さん』のお仕事をご紹介します

みなさんは動物園で働いている「飼育員さん」が
普段どんなことをしているのか知っていますか？

動物のお世話はもちろんのこと、実は他にもたくさんのことをしているんです。
では、具体的にどんなことをしているのか、ニホンザルの担当飼育員の
1日の仕事内容を見て学んでみましょう！



8:45 朝のミーティング

まず開園前に他の飼育員と、今日の予定や各担当動物の状態などについて話しあって、仕事内容の相談などをします。



9:00 朝の確認

さっそくニホンザルたちの居るサル山へ。着いてまず始めにするのが、怪我しているサルはいないか、エサの残り具合、獣舎が壊れていないかなどの入念なチェック。



9:10 いよいよ仕事場へ！



メインの作業場。
ここで様々な作業を行います。



エサ箱や清掃用具などがいっぱい

9:20 エサ運び

今日の分のエサを調理場に運びます。



サルにとって必要な分だけを与えるように、一日分の量をきちんと計ります。

9:30 展望レストハウス前のウッドチップの掃除

ほうきと火ばさみを使って糞を取り除きます。また、岩場やコンクリート部分の水洗いもします。



チップに隠れた糞も見逃さず！

サルが気持ちよくくつろげるように

9:40 窓ガラスの拭き掃除

水を含んだスポンジとワイパーを使って窓を洗います。小さな子どもの視線となる低いところは特に汚れがちなので、丁寧に汚れを落とします。



9:50 獣舎の掃除

少し地味な作業ですがこれがとても大事。ほうき、ちりとり、火ばさみを使って糞や食べかすを取り除きます。



見逃さないようくまなくチェック！

10:30 エサ切り

ジャガイモ、ニンジン、キャベツ、リンゴを切ります。まるごと与えてもサルは食べられますが、カットすることで、たくさん居るサルたち皆が食べられるようにすること、小分けにすることで食べる時間が長持ちします。



目にも止まらぬ速さはまさに職人技！

11:00 ホースで水洗い

いよいよサル山の中へ。ホースを使って、泥や食べかすなどを洗い流して綺麗にします。



水圧は超強力！
力が強くなきゃ持っていられないよ！

作業中も常にサルたちの様子を観察することが大事。

11:30 エサやり

いよいよサルたちにエサを与えます。実は、ニホンザルは好きなエサから順番に食べる習性があります。一番最初は何から食べるかな？



エサをサル山全体にまきます。



野菜の他に、小麦、煮干し、サル用固形飼料も与えています。



11:40 お客様への解説



「みんなのドキドキ体験」という、お客様にエサの解説やニホンザルの生態などについての解説をします。

13:00 担当動物以外の仕事

飼育員は、自分の担当している動物だけではなく、他の獣舎にも関わる仕事など、様々なことをしています。今日は、他の飼育員と一緒に獣舎の点検をしました。



16:00 包丁とぎ

毎日使っているとすぐに切れ味が悪くなるので、定期的に包丁を研ぎます。簡単そうに見えて、実は難しく、かなりコツがいるんです！



研ぎ終えた包丁は見違えるほどピカピカに

今回ご紹介した飼育員



名前：小林 真也
担当：ニホンザル（サル山）
サル山担当歴：5年
好きなもの：ビールと野球観戦

飼育員さんに質問

- Q** サル山を担当していて大変なところはどこですか？
A 多くのサルを見るため、作業の途中でも常に気にかけていなければならないことと、獣舎のスペースが広いので、その分掃除が大変なところ。
- Q** やりがいはどこですか？
A プレッシャーはありますが、命を預かっているという大きな責任を任されているところ。
- Q** ニホンザルの魅力を教えてください。
A サルの顔など特徴の違いや、寝ていたり走ったり、それぞれの暮らしぶりを長い時間観察できるところ。